

ボーリング柱状図

調査名 長谷ダム法面工事実施設計業務委託

ボーリングNo 2

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 2		調査位置	福岡市東区大字香椎		北緯	33° 39' 35.29"			
発注機関	福岡市水道局			調査期間	平成 22年 11月 20日 ~ 22年 11月 22日		東経	130° 28' 10.05"		
調査業者名	第一復建株式会社 電話(092-557-1335)		主任技師	藤野 晃	現場代理人	藤野 晃	コア鑑定者	藤野 晃	ボーリング責任者	松藤 敬二郎
孔口標高	66.10m	角	180° 上 90° 下 45° 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 50°	
総掘進長	5.00m	度			向			使用機種	ワイビーエム製 YBM-05	
						エンジン	ヤンマー製 NFAD8	ポンプ	ワイビーエム製 SP-30	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 △ (%) 最大コア長 R Q D [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(ルジオン 標準貫入) 試験			原位置試験 ()	室内試験 ()	掘進状況																					
															(P ~ Q N 値 ~ 深度) 図	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)			送水圧 (MPa)	送水量 (l/min)	排水量 (l/min)	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	コアチップ / ビット	孔壁保護															
	66.01	0.13	崩積土	灰白	D	V					法面保護工の吹き付けモルタル			11/22 0.90																											
	65.82	0.40	塩基性片岩	褐	D	V	d	δ			片岩の岩片〜角礫で、径最大5cmである。		D																												
	65.68	0.60		褐	C	IV	c	γ			角礫状で採取され、径は最大3cmである。		CL																												
1	65.39	1.00									岩片〜短柱状と土砂状コアで採取される基盤岩風化部である。																														
2				灰緑	B			II III	b	β	深度1m以深は基盤岩の新鮮部。全体にコアは非常に堅硬である。棒状コアを主体とするが、1.0~1.35m間はやや亀裂が発達する。片理はコアにコアに対して見かけ上高角度であるが、これは本ボーリングが斜め方向の掘進のため、片理の方向が地山に対して受け盤状であることを示している。3.3~3.6m間は破碎状を呈し、亀裂が多い。		CM																												
3	63.63	3.50																																							
4								II			深度1m以深は基盤岩の新鮮部。コアは非常に堅硬で亀裂も少ない棒状コアを主体とする。		CH																												
5	62.56	5.00																																							
6																																									
7																																									
8																																									
9																																									

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
 ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。